

第2学年 生活科学学習指導案

指導者 福岡市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇

1. 単元名「町は、ぼくらの宝箱」 ～〇〇は自然の宝箱～

2. 活動作りにあたって

<こんな子どもだから>

本学級の児童は、今までに「ようこそ1年生」で、1年生に〇〇小学校の「おすすめのところ」や「あぶないところ」を教えながら学校を案内して、1年生とのかかわりを楽しんだり、「ぐんぐんそだて」で、夏野菜を育て、その変化や成長の様子に関心をもったりしてきた。

また6月には、「町はぼくらの宝箱」で、〇〇の町に親しみをもってほしいという教師の願いから子どもたちにとって身近な公園の探検に出かけた。遊具で思いっきり遊んでその楽しさを感じたり、虫や花などその公園にある自然を見つけその不思議さに触れたり、またベンチやトイレなど人々が利用することができるその施設の良さを発見したりと、それぞれの公園の特徴やいいところに気づくことができた。このことで、「〇〇中央公園の草の坂すべってみたいな。」「お母さんをローラー滑り台があるから、ロケット公園に連れて行ってあげたい。」などと自分たちが住んでいる町には、わくわくする公園がいくつもあることを知りその公園に対して親しみをもつことができた。

公園への町探検を通して、自分たちが生活をする町に少しずつ目が向き、もっと知りたいという気持ちをもつようになってきている。

<こんな教材で>

本校は、中央区に位置する住宅街の中にあり、その周辺には〇〇山や〇〇霊園、福岡市動植物園などがあり、自然にとっても恵まれた環境にある。

しかし、周りに自然が溢れている地域で生活しているものの、その自然と触れ合った経験の少ない子どもが多い。また、1学期の町探検で、行ったことのないいくつもの公園へ出かけたことにより、地域に対する興味・関心が少し高まってきている。

そこで、〇〇の町にある自然に触れて、その豊かさを感じる中でもっと自分たちの町に親しみをもってほしいとの願いからこの単元を設定した。

学習指導要領の内容(3)「健康で安全な生活」、(5)「身近な自然との触れ合い」を複合したものに当たる。

<こんな手立てで>

実際に、身近な自然のある〇〇山や〇〇霊園へと出かけ、自分なりの「〇〇の自然のたからもの」を見つける。それを可能な限り採集したり、観察したり、飼育したり、比較したりするなどの活動を繰り返すことにより、その自然の素晴らしさ(豊かさ・不思議さ・面白さなど)に気づいていってほしい。

また、活動を通して分かったことや、感じたこと、感動したことをまとめた表現物(絵本・図鑑・新聞など)をクラスの友達と交流することによって、自分の気づかなかった自然の素晴らしさにも気づかせたい。さらには、「ぼくのおもしろいバツが、にはたくさんいるんだ。」などと、子どもの感じる自然の良さが自分の地域に存在することにも気づくように働きかけていきたい。

また、〇〇の自然を通して得てきた地域への親しみをさらに広げるために、「今度はこんなところに行きたい。」「もっと〇〇の町のことを知りたい。」と子どもの思いや願いを生かしながら。次の小単元「素敵な人にも出会い隊」へ繋いでいきたいと考えている。

3. 単元の目標

〇〇の町にある草花、実、虫等に関心を持ち、自分なりに「〇〇の自然のたからもの」と感じるものを見つけ、それを採集したり、飼育したり、調べたりして進んで自然とかかわることができる。

【生活への関心・意欲・態度】

自分が見つけた「自然のたからもの」を採集し、観察したり、飼育したり、調べたりしたことを通して、分かったことや感じたこと、感動したことを自分が表したい表現方法(絵本・図鑑・新聞など)で表現することができる。

【活動や体験についての思考・表現】

〇〇の町の自然の豊富さに気づくことができる。

友達との交流活動を通して、自分の成長に気付くことができる。

【身近な環境や自分自身への気づき】

4. 指導計画

	活動のねらい	子どもの活動の姿	評価規準と見取り	支 援
つ か む 1	<p>1学期の町探検のことを想起し、今回の町探検で、見つけたい、探したいものを具体的に考え、願いを持つことができる。</p>	<p>1学期の町探検を思い出そう</p> <p>ロケット公園には、ローラー滑り台があって、楽しかったよ。 カメ公園には、大きな桜の木があって、自然がいっぱいだったよ</p> <p>今度の町探検では、どこに行き、何を見つけたいか話し合おう</p> <p>ぼくは、ザリガニやメダカを見つけてみたい。 わたしは、〇〇山でどんぐりや木の実を見つけてみたい。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 1学期の町探検を想起し、これからの活動の願いを具体的に持つことができる。</p> <p>【思考・表現】 1学期の探検から、〇〇には、どんな自然があるのか考えることができる。</p> <p>【気付き】 1学期の町探検から、町にはたくさんの自然がありそうなことに気付くことができる。</p>	<p>次の探検活動でのめあてが明確になるような、カードを用意し、探検で見つけたいもの、場所を書けるようにする。</p>
ふ か め る 9	<p>自分の願いや思いに沿って、自分なりの「自然の宝物」を見つけていることができる。</p> <p>自然物を見つけ採集するだけでなく、友達が見つけた「宝物」と比べたり、違いを見つけたりしながらその自然物の特性（多様性・形状・構造・不思議さなど）を見つけていることができる。</p> <p>自然物の特性の気づきを表現するのに、一番良い表現方法を考え表すことができる。</p>	<p>さんのは、どんぐりのぼうしがいっぱいあって、びっくりした くんのパッタがすごく大きかったから、ぼくもつかまえないな</p> <p>木の実 虫 お花・はっぱ 水中生物</p> <p>どんぐりって何種類ぐらいあるのかな。〇〇〇山で集めてみよう。 ぼくは、にいて、大きいパッタをつかまえるんだ。</p> <p>公園には、クローバーがあったね。いろいろお花探してみたいな。 ぼくは、魚を見つけたかった。に行き探してみたいな。</p> <p>採集 観察 試し</p> <p>(図鑑作り) (絵本作り) (新聞作り) (標本作り)</p> <p>ぼくは、のこを、詳しく観察したよ。わかったことを図鑑にしよう。 私は、のこを調べたよ。お話を入れて、絵本作ろう。</p> <p>私は、には、種類がたくさんあることに気付いたよ。そのことを、新聞にしよう ぼくは、をたくさん集めたよ。分かりやすく並べてみんなに見せよう。</p> <p>「〇〇は自然のたから箱」をみんなにつたえよう(本時)</p> <p>ぼくが で見つけた虫は、いろんな種類があって、おもしろいよ。 わたしが で見つけたお花の花びらは、~の形」をしているよ。とてもかわいいよ。 には、アメンボがすんでいるよ。アメンボってとぶんだよ。すごいでしょ。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 自分の願いを元に、進んで町に出て自然物を見つれたり採集したりすることができる。</p> <p>【思考・表現】 自分が採集したとさらに深く関わる方法を考えることができる。</p> <p>【気付き】 自分が採集した「〇〇の自然の宝物」を見つめる活動を通して、その自然物の特性（形、大きさ、構造、多様性など）に気付くことができる。</p>	<p>探検したい自然物や場所を把握し、事前に同じ仲間と探検できるように、グルーピングする。</p> <p>町探検に出かけ、自然物の採集や、採集した自然物を探る活動において、子どもが五感を働かせて気付いた表現を、活動後の振り返りの交流やカードで見取り、その良さを価値付ける。</p> <p>一人ひとりが自然物を探る活動を達成することができるように、活動中の子どもの姿（つぶやき・表情・行為）を見取り、自分の願いを達成できるように、適宜支援（時間・方法・道具など）をする。</p>
ひ ろ げ る 4	<p>友達の伝えたいことを聞いて、更に自然に対する気づきを広げたり、深めたりすることができる。</p>	<p>「〇〇は自然のたから箱」をみんなにつたえよう(本時)</p> <p>ぼくが で見つけた虫は、いろんな種類があって、おもしろいよ。 わたしが で見つけたお花の花びらは、~の形」をしているよ。とてもかわいいよ。 には、アメンボがすんでいるよ。アメンボってとぶんだよ。すごいでしょ。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 自分が作った作品をもとに、〇〇の自然の良さを進んで友達に伝えようとしている。</p> <p>【思考・表現】 自分の作品を元に、何を一番に伝えるのか考えることができる。</p> <p>【気付き】 交流会を通して、更に〇〇の自然の特性の良さに対する気づきを深めるとともに、友達の活動の良さに気付くことができる。</p>	<p>採集した自然物の作品を用いながら、今まで活動で感じた〇〇の自然の良さについて、何を伝えたいのか意識しながら、友達に伝えることができるように支援する。</p> <p>友達の活動の良さに気づけるような言葉かけの支援を行う。</p>

6, 本時の目標

〇〇の町の自然の良さへの気付きをさらに深めることができる。(身近な環境や自分自身の気付き)

7, 本時指導の考え方

本学級の子どもたちは、これまでに、町探検で見つけてきた「自然の宝物」を見て観察カードを書いたり、友だちとの交流で友だちの「自然の宝物」と比べたりしながら、その自然物のあった場所や種類の違いなどに気付いてきた。また、毎日のように、取ってきた虫(バッタ・コオロギ・カマキリなど)の世話や、観察をしながら、その自然物の良さや特性に気付いてきておりさらに自然物に対する関心を高めてきている。

本時では、交流活動を通して、自分たちの生活している「〇〇の町」の自然の良さへの気付きをさらに深めることをねらっている。

そのためにまず、種類が違う自然物同士で小グループを作り、表現したものを使って自分の「自然の宝物」について気付いたことや分かったことを交流する。

この時、友達の作品を近くで見たり触ったりできるよう、高さの低いテーブルに座って発表する。友達の発表を聞いた後、その伝えた友達の良さを「良かったよカード」に書く。書く内容の視点(内容のいいところ)を明確にして伝えることによって、「〇〇〇〇山には、何種類もどんぐりが落ちてるんだ。」「には、こんなお花があるんだね。」「さんの標本上手だね」など、自然物への気付きを広げさせ、さらにその作品のよさにも触れさせたい。

全体交流では、小グループでの交流で自分が気付いたことを「良かったよカード」をもとにしながら、発表していく。ここでは、〇〇の自然のよさや作品の良さを共有する場としたい。また、気付いたことを発表した後、教師が「〇〇の町ってどんな町?」と問いかけることによって、「〇〇の町」の町は自然が豊富であることに気付いてほしいと考えている。

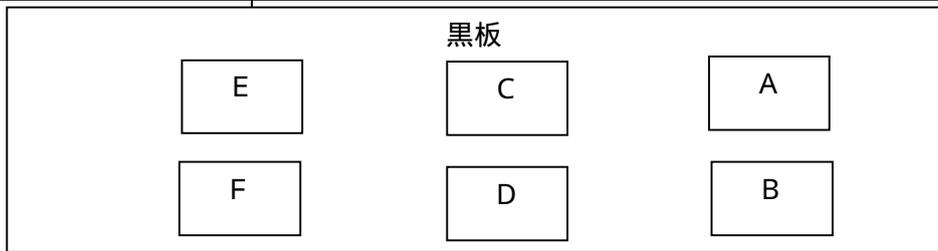
8, 準備

教師・・・学習プリント

児童・・・発表物

9, 本時の展開 13 / 14時

主な活動・内容	・指導上の留意点	活動の支援	【】評価基準
1 本時のめあてと活動のしかたを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあて ・ 発表の仕方 ・ 発表時間 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「おざさはしぜんのたからばこ」をみんなにつたえよう </div>			
2 グループの中で、自分が見つけてきた「〇〇の自然の宝物」を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物の特性 ・ 子どもが感じる良さ 	・ <u>グループ構成</u> や発表をする順番については、事前に決めておく。(種類が違う自然物同士の小グループ)		



かわいい形をしたお花を見つけたよ。リボンの形をしているんだよ。

すごいなあ。私も今日、かわいいお花見つけてかえろう。

バッタを見つけたよ。草むらの中によくいるよ。

バッタは何を食べて大きくなるの？

3、友達の発表を聞いて、思ったことを「よかったよカード」に書く。

一人の発表が終わったら、グループの中で質問や感想を言い、新たな気づきや友達とのかかわりを広げるようにする。

- ・友達の発表を聞いて、友達の良いところを見つれたり、共感したりしながら聞いている子どもを賞賛する。

- ・全員の発表が終わったグループは、友達の発表を聞き、思ったことことを「よかったよカード」に書くようにする発表の内容について気付いたことを書くことができるよう声をかける。

【気付き】

〇〇は自然のたからばこを通して、〇〇の自然の良さへの気付きをさらに深めることができる。(発言・カード)

4、思ったことや気づいたことを発表する。

- ・内容について
- ・「〇〇の町」について

- ・学習カードにまとめたことを生かしながら発表する。

友達の発表を聞いて、思ったことや分かったことをみんなに伝え、更に自然に対する気づきを広げたり、深めたりできるようにするために、全体交流をする。

友達の発表を聞いて、〇〇の自然の良さ(自然の豊富さ)に気づくことができるようにするために「〇〇の町について思ったこと」を発表する。

「よかったよ！」カード

2年 組 名前

くん よかったよ！
さん

「よかったよ！」カード

2年 組 名前

よかったよ！
さん

黒板

し
魚

さ
バツタ

き
魚

か
クワガタ

い
魚

あ
カブトムシ

E

C

す
花

せ
魚

そ
コオロギ

く
どんぐり

け
バツタ

こ
カブトムシ

う
カマキリ

え
バツタ

お
花

ひ
アメンボ

は
てんとう虫

に
魚

な
コオロギ

ち
どんぐり

た
バツタ

F

D

B

ふ
バツタ

へ
どんぐり

ほ
バツタ

ぬ
バツタ

ね
アメンボ

の
花

つ
花

て
魚

と
カブトムシ